

I. 調査の概要

1. 調査対象期間

平成19年4月～6月の3ヶ月間

2. 調査施設数

従業者数10人以上のホテル、旅館及び簡易宿所10,406施設

	10～29人	30～99人	100人～	計
施設数	5,977	3,366	1,063	10,406

3. 回収率

72.1% (7,507施設)

II. 調査結果の概要

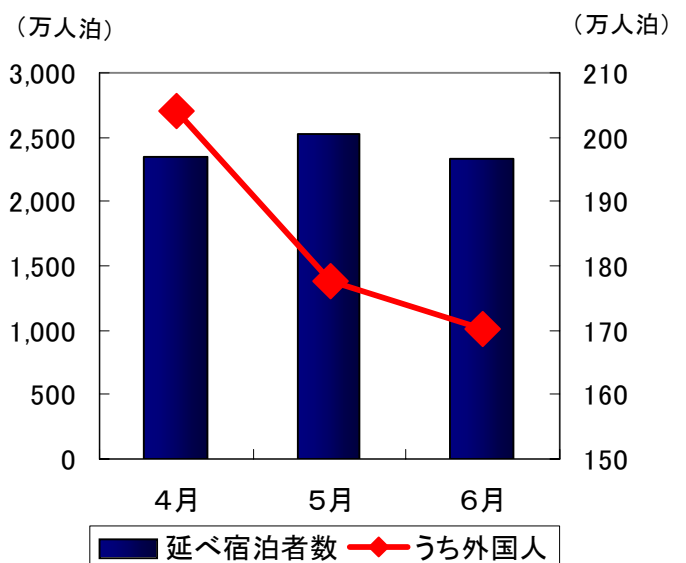
1. 平成19年4月～6月の調査結果

(1) 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は7,214万人泊で、うち外国人は552万人泊(宿泊者全体に占める割合は7.7%)

月別延べ宿泊者数 (万人泊)

	延べ宿泊者数	うち外国人	
			シェア
4月	2,347	204	8.7%
5月	2,532	178	7.0%
6月	2,335	170	7.3%
合計	7,214	552	7.7%



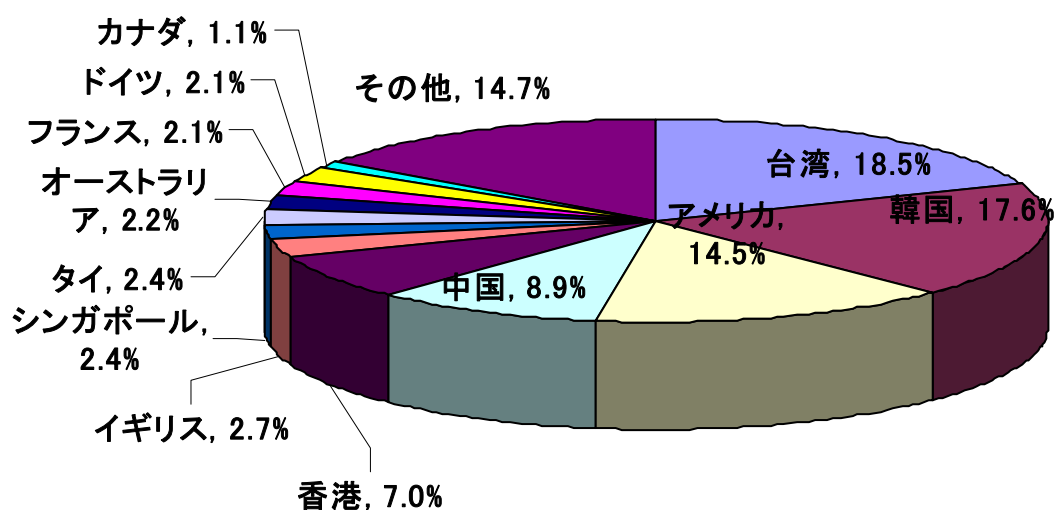
(2) 国籍別外国人宿泊者数

○国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は第1位が台湾、第2位が韓国、第3位がアメリカで、上位3カ国(地域)で全体の5割超
 ○次いで、中国、香港の順で、これら5カ国・地域の全体のシェアは7割弱

国籍別外国人延べ宿泊者数

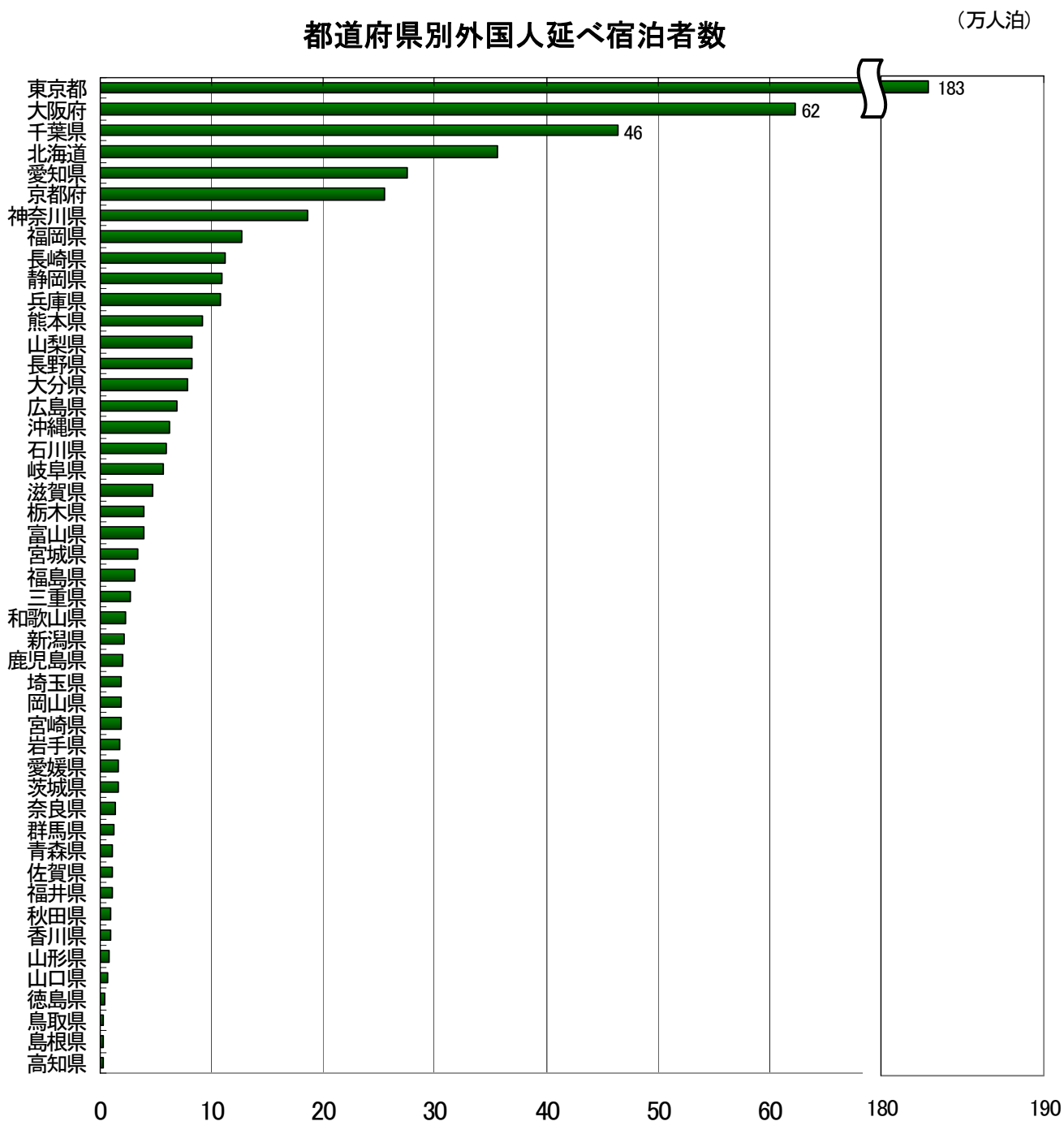
(万人泊)

順位	国籍(出身地)	合計		4月	5月	6月
			シェア			
第1位	台湾	102	18.5%	37	34	32
第2位	韓国	97	17.6%	32	34	31
第3位	アメリカ	80	14.5%	29	25	25
第4位	中国	49	8.9%	18	16	15
第5位	香港	38	7.0%	15	11	13
第6位	イギリス	15	2.7%	6	5	4
第7位	シンガポール	13	2.4%	4	4	5
第8位	タイ	13	2.4%	7	3	3
第9位	オーストラリア	12	2.2%	5	4	4
第10位	フランス	12	2.1%	5	4	3
第11位	ドイツ	11	2.1%	5	4	3
第12位	カナダ	6	1.1%	2	2	2
	その他	81	14.7%	30	26	25
	合計	552	100.0%	204	178	170



(4) 都道府県別外国人延べ宿泊者数

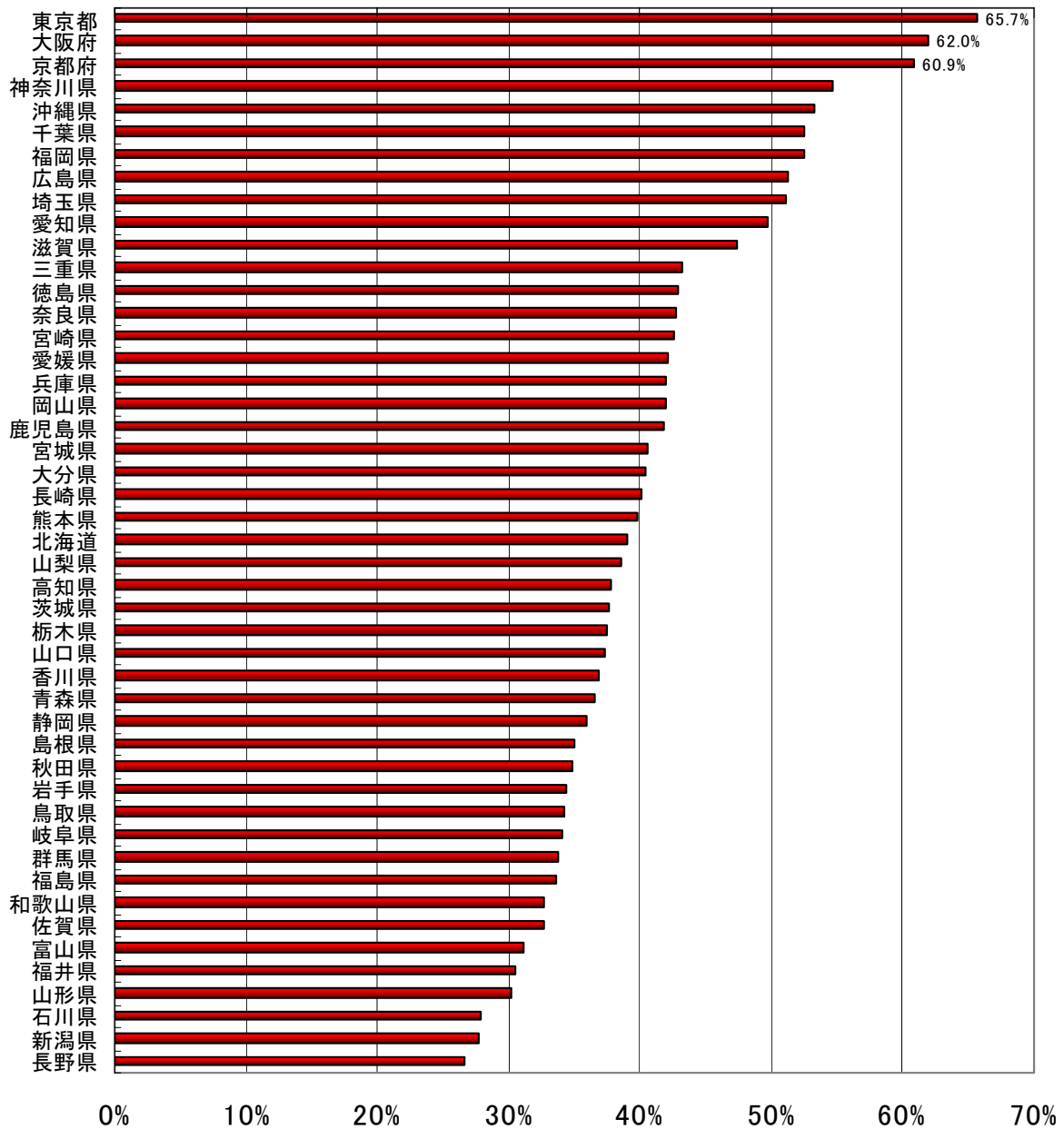
都道府県別外国人延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が大阪府、第3位が千葉県であり、上位3都道府県の全国でのシェアは5割超



(5) 都道府県別定員稼働率

都道府県別の施設の定員稼働率は、東京都が最も高く、第2位が大阪府、第3位が京都府

都道府県別定員稼働率



Ⅲ. 上半期(平成19年1月～6月)の集計結果

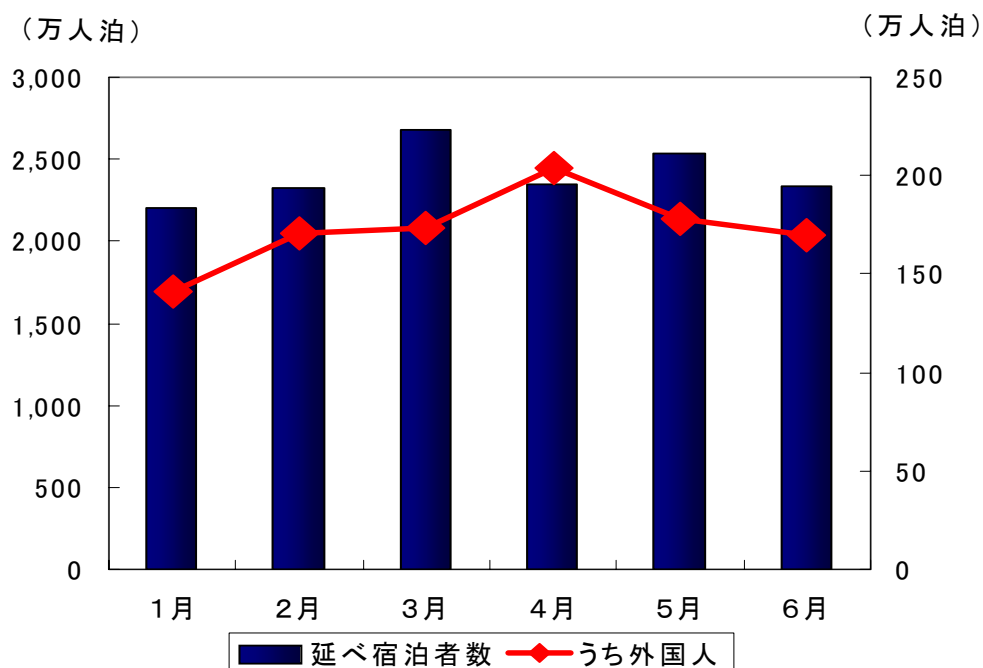
1. 延べ宿泊者数

延べ宿泊者数は14,419万人泊で、うち外国人は1,037万人泊(宿泊者全体に占める割合は7.2%)

月別延べ宿泊者数(上半期)

(万人泊)

	延べ宿泊者数	うち外国人	
			シェア
1月	2,199	141	6.4%
2月	2,322	171	7.4%
3月	2,683	173	6.4%
4月	2,347	204	8.7%
5月	2,532	178	7.0%
6月	2,335	170	7.3%
合計	14,419	1,037	7.2%



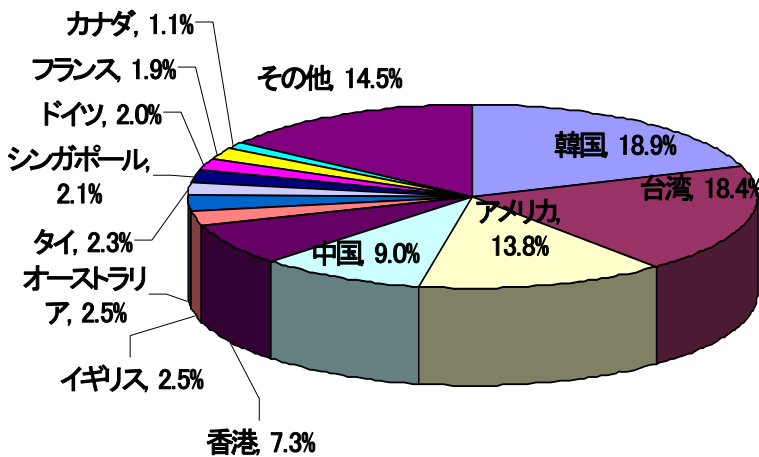
2. 国籍別外国人宿泊者数

○国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は第1位が韓国、第2位が台湾、第3位がアメリカで、上位3カ国(地域)で全体の5割超
 ○次いで、中国、香港の順で、これら5か国・地域の全体のシェアは7割弱

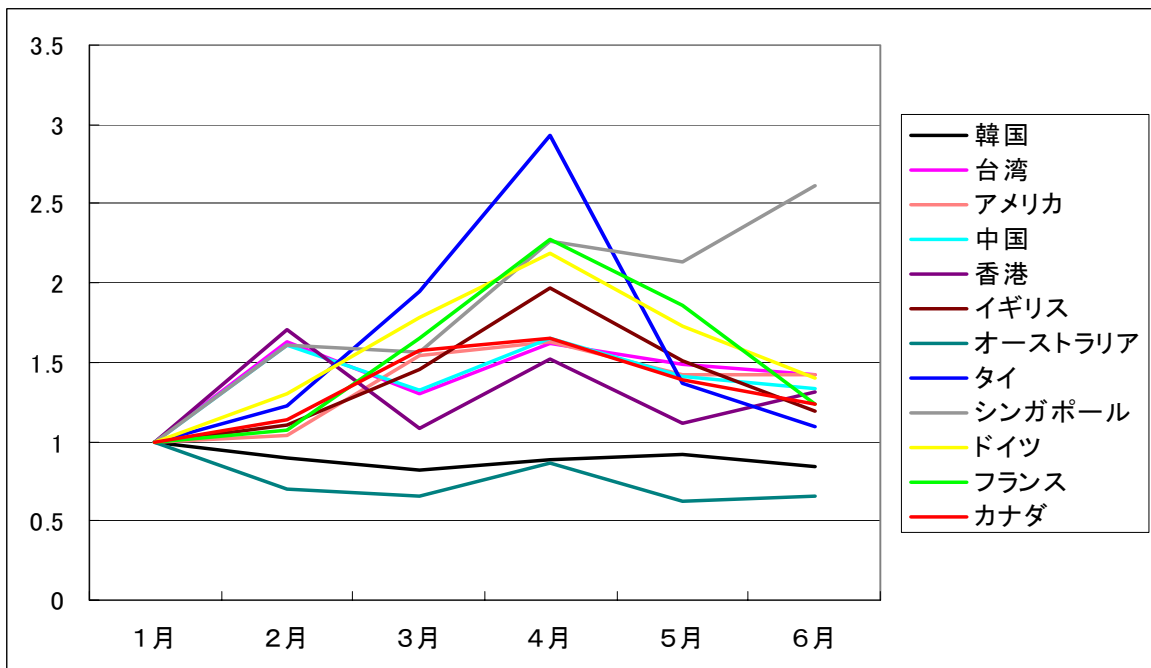
国籍別外国人延べ宿泊者数(上半期)

(万人泊)

順位	国籍(出身地)	合計	
		人数	シェア
第1位	韓国	196	18.9%
第2位	台湾	191	18.4%
第3位	アメリカ	143	13.8%
第4位	中国	93	9.0%
第5位	香港	75	7.3%
第6位	イギリス	26	2.5%
第7位	オーストラリア	26	2.5%
第8位	タイ	24	2.3%
第9位	シンガポール	21	2.1%
第10位	ドイツ	20	2.0%
第11位	フランス	20	1.9%
第12位	カナダ	12	1.1%
	その他	151	14.5%
	合計	1,037	100.0%

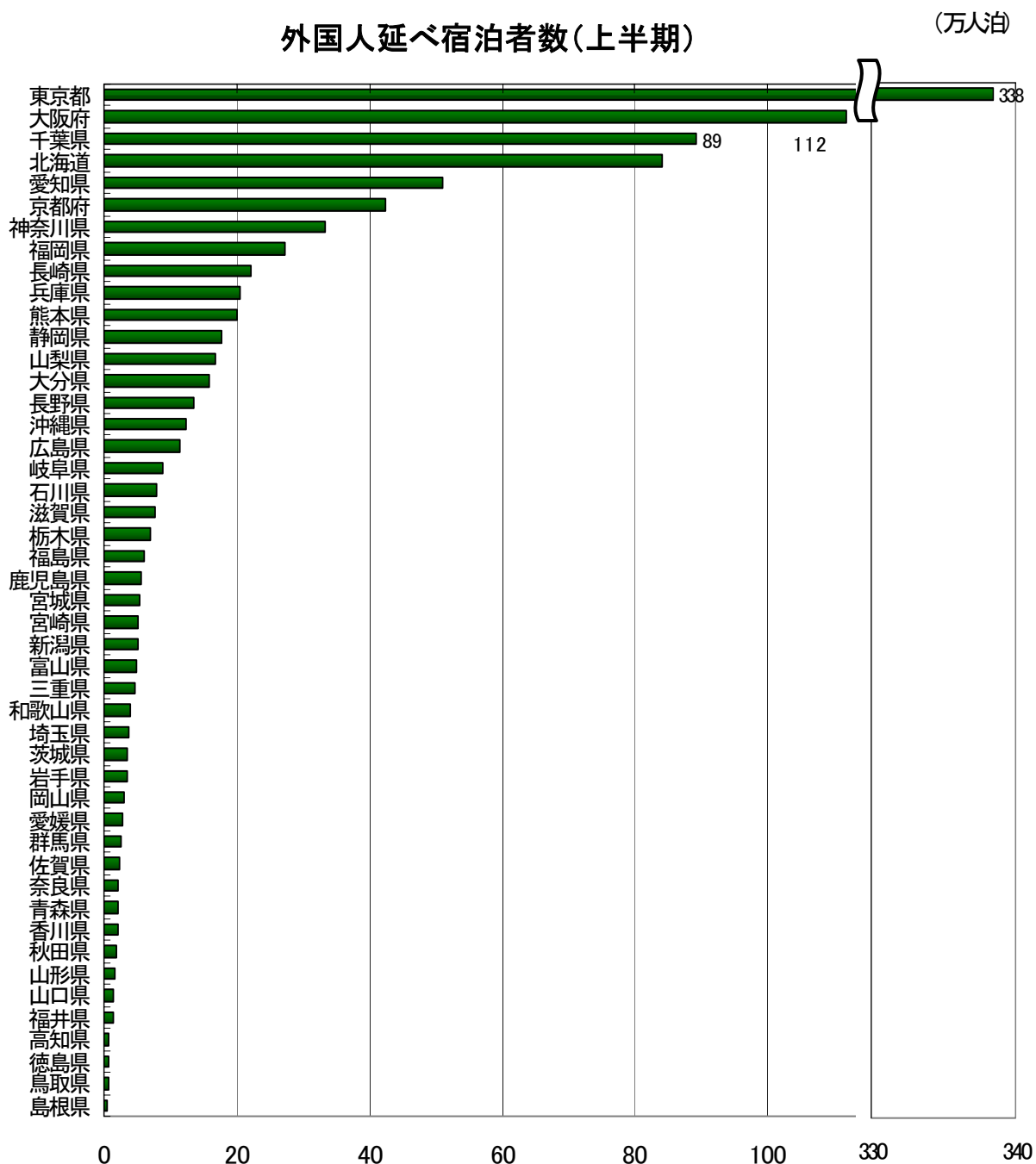


外国人延べ宿泊者数の推移



4. 都道府県別外国人延べ宿泊者数

都道府県別外国人延べ宿泊者数は、東京都が最多、第2位が大阪府、第3位が千葉県であり、上位3都道府県の全国でのシェアは5割超



IV. 前年調査との比較分析(6月分)

1. 比較分析の概要

今回調査(4月～6月)のうち6月分と、前年調査(第二次予備調査(6月～8月)のうち6月分を比較分析した結果は以下のとおり。(※)

2. 分析結果の概要

(1) 延べ宿泊者数(表1)

延べ宿泊者数は2.8%の増

(2) 外国人延べ宿泊者数(表2)

① 都道府県別

外国人延べ宿泊者数は12.4%の増加

② 国籍(出身地)別

国籍(出身地)別外国人宿泊者数の増加率上位は第1位がシンガポール、第2位が中国、第3位が香港

トピックス

6月の前年同月比について、延べ宿泊者数は38都道府県で、外国人延べ宿泊者数は37都道府県で増加となった。

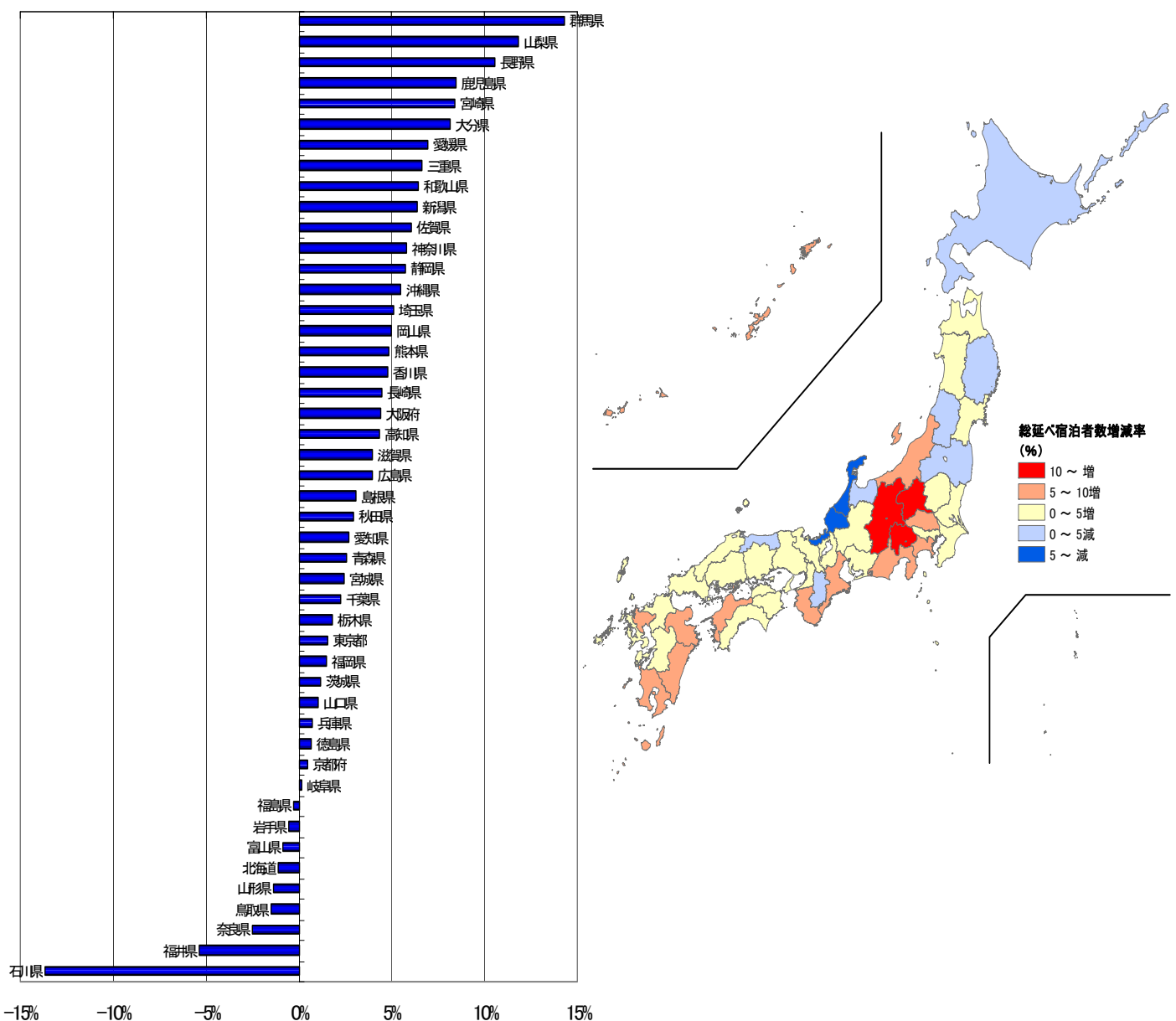
特に外国人延べ宿泊者数の伸びが大きい福井県については、**台湾人の増加**が顕著である。これは、北陸三県を周遊する観光ルートの人気などに伴う富山・能登・小松空港へのチャーター便の増加によるものと考えられる。

(※) 比較分析に当たっては、今回調査及び前年調査でともに回答が得られた宿泊施設のデータを比較することにより、延べ宿泊者数等の増減を求めた。

(表1) 延べ宿泊者数比較

- 延べ宿泊者数は前年同月(6月)より2.8%の増
- 前年同月比で10%以上の増加は、3県(群馬県(14.3%増)、山梨県(11.8%増)、長野県(10.6%増))

都道府県別延べ宿泊者増減率順位

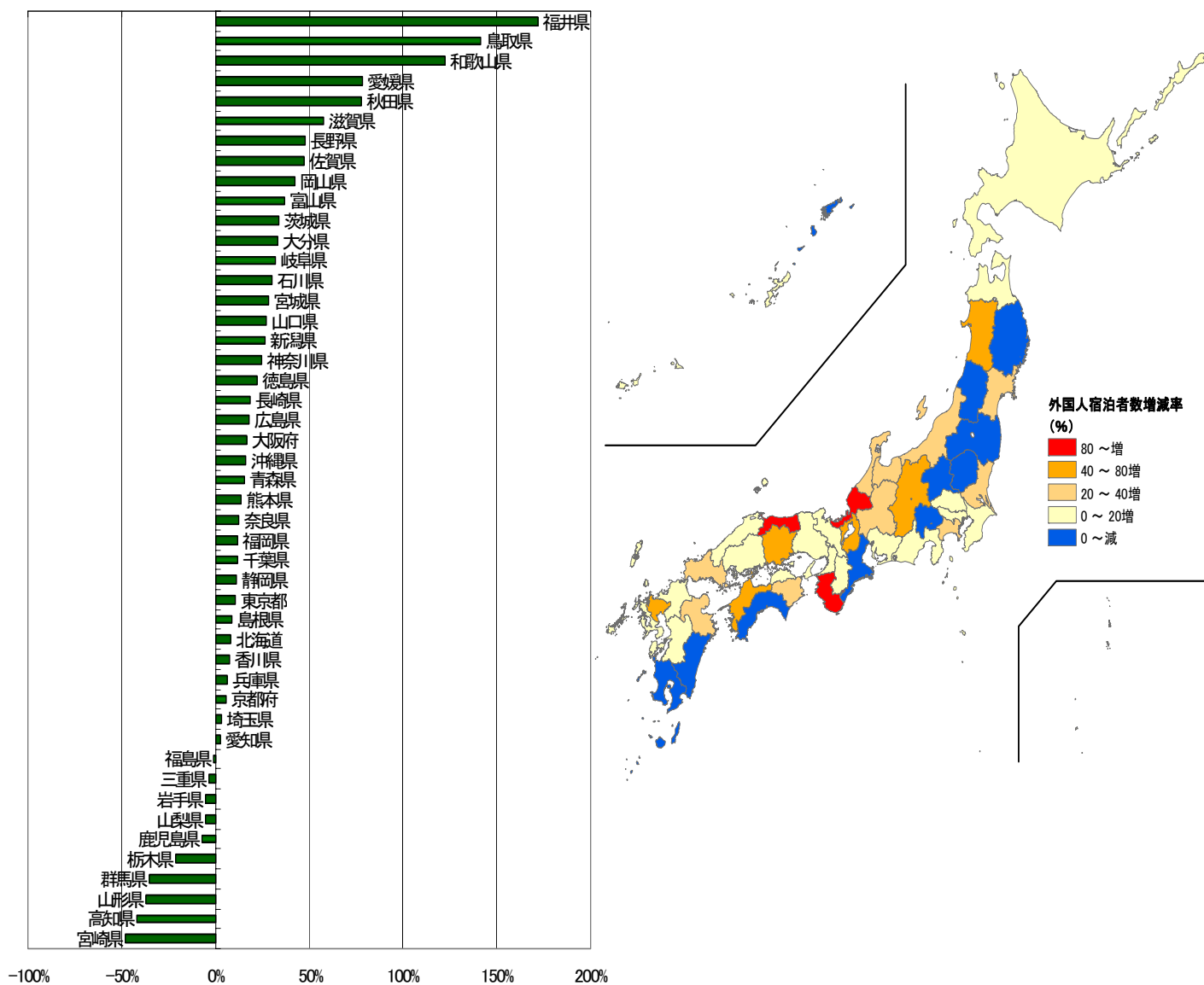


(表2)外国人延べ宿泊者数比較

①都道府県別外国人延べ宿泊者数

- 外国人延べ宿泊者数は前年同月(6月)より12.4%の増加
- 都道府県別に比較すると、増加率上位5県は、福井県(前年同月比172.1%増)、鳥取県(同141.6%増)、和歌山県(同122.2%増)、愛媛県(同78.4%増)、秋田県(同77.5%増)

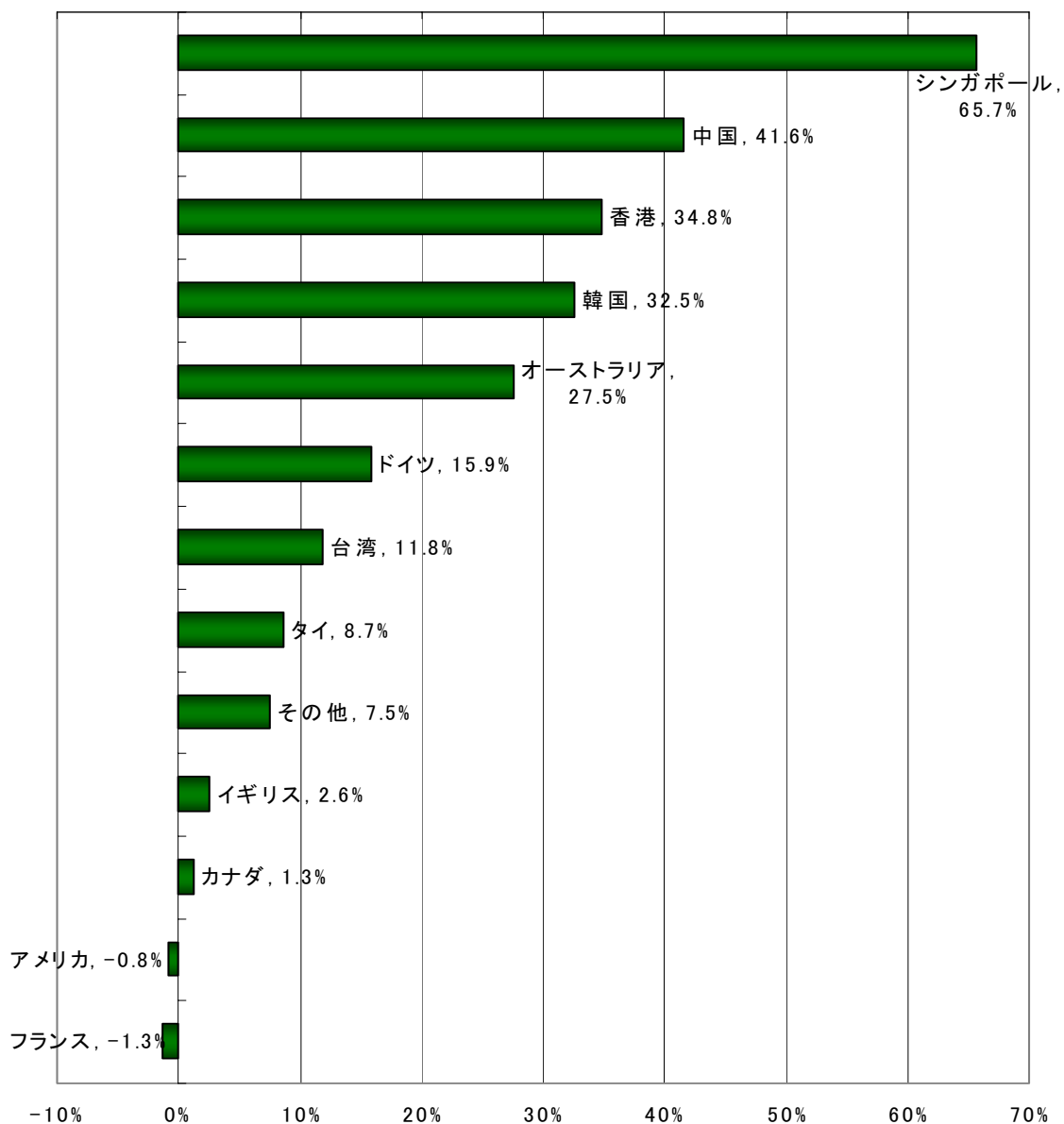
都道府県別外国人延べ宿泊者増減率順位



②国籍(出身地)別比較

国籍(出身地)別外国人宿泊者数の前年同月比(6月)の増加率上位は、第1位がシンガポール、第2位が中国、第3位が香港

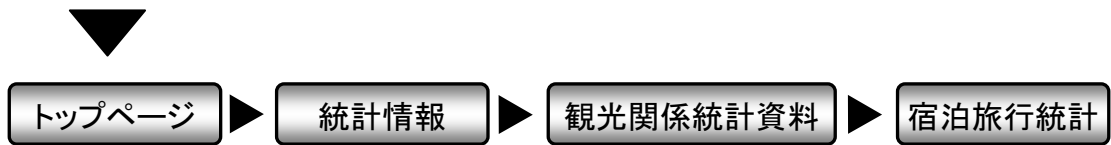
国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者増減率順位



V. 宿泊旅行統計調査の詳細データについて

＜宿泊旅行統計調査＞の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/>



(宿泊旅行統計ホームページ)